



2020年8月12日

各位

上場会社名 CKD株式会社
 代表者 代表取締役社長 梶本 一典
 (コード番号 6407 東証第一部、名証第一部)
 問合せ先責任者 経理部長 竹澤 正
 (TEL 0568-74-1006)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期第2四半期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月14日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	48,200	1,530	1,590	1,060	16.42
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第2四半期)	47,382	1,130	1,087	683	11.03

(2) 2021年3月期通期連結業績予想の修正(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2020年5月14日発表)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	96,500	3,210	3,270	2,270	34.88
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	100,717	5,230	5,374	3,689	59.56

(3) 修正の理由

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済環境が不透明な状況にあり、通期業績を見通すことが困難なことから、2020年5月14日公表の「2020年3月期決算短信」では、第1四半期の連結業績予想のみ開示しておりました。

この度、新型コロナウイルス感染症による影響は長期化しておりますものの、現時点で当社が把握可能な情報に基づいて、通期連結業績予想を公表することといたしました。

業績予想の前提につきましては、現状の受注状況をベースに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることを織り込んでおります。そのため、自動機械部門においては、据え付け工事遅延や検収遅れなどが発生する可能性を見込み、売上高の減少を予想しております。

機器部門におきましては、国内市場における自動車や工作機など機械産業向けは、慎重な姿勢が継続されるとみております。一方、半導体設備投資などの電子産業につきましては、遅延のリスクはあるものの、通期を通して堅調に推移することを前提としております。また、海外市場では、東アジアは中国を中心に設備投資は底堅く推移するものと予想されますが、東南アジアは感染拡大に伴う影響で、経済は緩やかに回復してくるとみております。

しかし、当予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の拡大の程度や収束の時期などにより大きく変動する可能性があります。開示すべき重要な事項が発生した場合には、すみやかに業績への影響をお知らせいたします。

なお、為替レートは、1米ドル105円を前提としています。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想	—	—	—
今回修正予想	6円00銭	6円00銭	12円00銭
前期実績 (2020年3月期)	5円00銭	13円00銭	18円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、経営基盤の充実と更なる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元については配当性向30%を目安としております。

この方針のもと、2021年3月期の業績予想公表に合わせ、第2四半期配当予想を1株当たり6円、期末配当予想を1株当たり6円として公表させていただきます。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上